

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童通所支援事業所 に・こ・ぱ2		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年 3月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年 3月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが自己選択できるような支援と自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	子どもたちと活動について話をしたり、遊びの選択ができるような環境設定を行いながら日々活動することができている。	子どもたちの意思や自己決定を大切にしていきながら、活動プログラムが固定されないよう工夫してかわっていきけるように配慮する。
2	大人の十分な個別対応を基盤に、安心して過ごせる環境を設けることができている。	事業所来所後の様子を汲み取り、不安や不満に寄り添いながら気持ちを切り替え、安定して過ごすことができるように配慮している。	個別の配慮に対応しながら活動経験を積み重ね、自立に向けた力を養うことができるように支援する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館等、地域の他の子どもと活動や交流する機会を設けていない。	児童館や地域の子どもとの活動や交流について設定することができなかった。	保護者や子どもたちのニーズを確認しながら、交流の場について職員間で検討し、実施できるように検討していく。
2			
3			